



2007年8月11日 横三労連 クルージング

## 恒例のクルージングに、67名参加！

すでに10年以上続けている、恒例のクルージングですが、今年は珍しく天候に恵まれ、素晴らしいクルージングを楽しむ事が出来ました。

通常の時間帯には、ショーが入ったため、混雑を避けて1本前の船に、大人53人、子ども10人、幼児4人が乗り込み、貸切状態で定刻の5時40分に出港しました。

いつもより時間が早いため、写真でご覧のように、妙に明るい中で宴会が始まり、いつになくトロピカルな雰囲気が漂いました。世界大会から戻られたばかりの参加者もいる中、かなり高いテンションで傘下单組の自己紹介が進み、三浦市職労の川原さんからは、三浦市の学校給食民間委託に反対する署名の訴えがありました。

お食事についても、今年はわりと評判がよく、特にカレーライスは大好評でした。筆者は司会をしていて、このカレーライスを食べ

損ね、悔しい思いをしました。

宴が進むと、綺麗なサンセットも見られ、また、金谷では、ちょっと長い時間停泊したため、交流の時間をより長く楽しむ事が出来ました。

子どもたちも大喜びで、その後会うと、「船で会ったね」「ご飯食べられた？」と声を掛けてくれます。でも、カレーはちょっと辛かったみたい(^\_^;)

## 市民説明会が始まりました！

8/27の追浜公民館を皮切りに、市内全ての公民館とヴェルクでの、「原子力空母の安全対策に対する市民説明会」が開催されています。追浜公民館には、68名の市民が参加、市企画調整部市民安全課の職員が説明しました。

市側は、米軍との「防災協定」締結や11月実施予定の「日米合同防災訓練」について解説し、原子力空母配備の理解を求めました。

質疑応答は、質問事項を書いた用紙を回収して読み上げ、回答する形式で行われ、時間切れで答えられなかった質問を含め、後日広報とホームページに、全質疑応答を掲載するそうです。

住民投票を成功させる会では、9/2にシンポジウムを予定しており、裏面のチラシを、説明会参加者にも配布しています。

## 原水禁世界大会・長崎は、青年中心に大盛況！

今年の原水禁世界大会・長崎は、どの参加者に聞いても、「凄く熱く盛り上がった」「いつになく青年が多かった」という声が返ってきます。青年のつどいは、開会総会と同じアリーナを使う程、参加者が多かったそうです。大会参加者数は7千名に達しました。中越沖地震や国民投票法成立の影響で、原発や九条の分科会も盛況だったそうです。

尚、横須賀・三浦地域からは、世界大会に総勢12名が参加しました。もちろん青年も2名参加しています。